

発掘成果をふりかえって 2021

<http://www.kyoto-arc.or.jp>

(公財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館



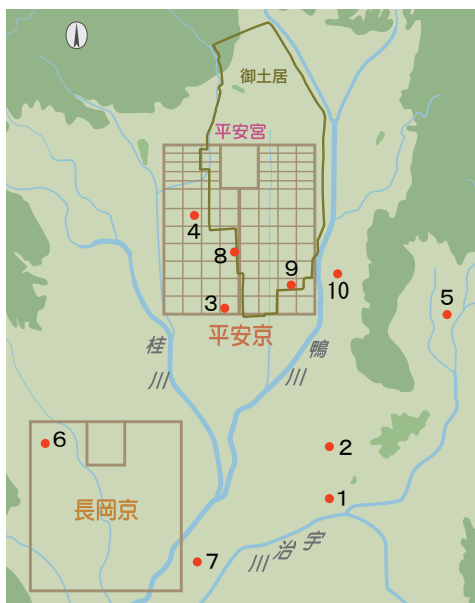
1 伏見城跡 伏見区桃山町立売・鍋島

JR桃山駅の駅前で木幡山城期と指月城期の遺構が重複して見つかりました。木幡山城期の遺構には道路に面した石垣・門・溝があり、武家屋敷の一画と考えられます。指月城期の遺構には石垣基礎と階段があり、従来の推定範囲よりも北側に遺跡が広がることがわかりました。



2 伏見城跡 伏見区桃山町福島太夫(呉竹総合支援学校)

伏見城城下町の造営では、緩斜面を切り崩し、盛土して雑壇状の平坦面を造成する大規模な土木工事が行なわれました。盛土は礫、砂、粘土など粒度の異なる土砂を縞状に何層にも重ねています。盛土の厚さは3mを超えるところもあり、盛土上面を整地して武家屋敷が造られました。



発掘調査の位置



3 史跡西寺跡 南区唐橋西寺町

北僧房の礎石据付穴・雨落溝、北僧房と講堂をつなぐ北軒廊の礎石抜取穴・基壇石材などが見つかり、西寺の伽藍復元に向けて重要な成果となりました。本調査は京都市文化財保護課による範囲確認調査です。



4 平安京右京四条三坊三町跡 右京区西院春日町（西院小学校）
藤原氏の荘園である「小泉庄」に関連すると考えられる大規模な掘立柱建物が見つかりました。道祖大路の西側溝は川のように掘り下げられていました。



5 山科本願寺跡 山科区西野山階町
中心区画の「御本寺」南部で、東西方向の大きな溝や建物などが見つかりました。山科本願寺の造営過程を知る手掛かりとなりました。



6 石見城跡 西京区大原野石見町
石見城は室町時代の集落に営まれた居館跡です。大きな堀が見つかりました。奥には現存する土塁が見えます。本調査は京都市文化財保護課による範囲確認調査です。



7 富ノ森城跡 伏見区横大路六反畑
集落の内部を区画する溝の埋土には、オオタニシなどの貝殻が一括して廃棄されていました。巨椋池での漁業活動をうかがうことができます。



8 御土居跡 下京区中堂寺南町(京都市中央卸売市場)
御土居の堀跡から、慶長丁銀に刻印する極印鑽が出土しました。印面には銀座支配・大黒常是をしめす大黒天の図像と「常是」の文字が刻まれています。



9 御土居跡 下京区河原町通七条下る郷之町
調査地の御土居は江戸時代に付け替えられたものです。東西方向の土塁と外側の溝、さらに高瀬川から貯木場へ引き込む水路が見つかりました。



10 方広寺跡 東山区茶屋町（京都市立博物館）
明治古都館北側で、豊臣秀吉が造営した方広寺（東山大仏）南築地塀の寄柱の地覆石や延石が見つかりました。造成工事ともなう足場穴や排水溝も確認しています。